

新城市作手総合支所庁舎・山村交流施設・作手小学校建設
設計業者選定プロポーザル評価講評

平成24年12月26日

新城市作手総合支所庁舎・山村交流施設・作手小学校
建設設計業者選定プロポーザル評価委員会

◎評価総評

「新城市作手総合支所庁舎・山村交流施設・作手小学校建設設計業者選定プロポーザル評価委員会」は、各委員（学識経験者、市民委員及び行政職員の8名）の専門性を生かしながら、参加者名はすべて匿名で厳正な審査を行った。その審査の総評を以下に記す。

本評価委員会の役割は、作手総合支所庁舎・山村交流施設・作手小学校建設が「作手開発センターを含む現作手総合支所庁舎ゾーン」を建設予定地とするものの、具体的な敷地が確定できない状況下で、プロポーザル参加者から提案を求め、「3施設を機能的に結ぶ総合施設」を実現するための高度な技術力と豊富な設計実績と共に、市民・行政と協調性を持って基本計画、基本設計を完遂する能力と意欲を十分に有するベストパートナーを選定することであった。

このような業者選定の大前提を踏まえ、設計案そのものの評価ではなく、設定した4つの課題に対して、どれだけ作手地区という「まち」を調査研究し理解した上で優れた提案がなされているか、また「作手総合支所庁舎を含む3施設を個別に建築するのではなく、地域の人々が常に学校に集い、顔の見える人間関係の中で地域の人々とともに子供達を育て（共育）ながら、市民も利用できる憩いの空間づくりを目指す」視点と業務に対する姿勢、意欲が具体的かつ明確に読み取れるか、この2点が評価におけるポイントであった。

提出された2社の提案は、設定した4つの課題において概ね一定水準の内容を有していた。2社とも優れた実績があり柔軟な対応をしてくれると理解し、住民参加型の施設づくりへの意欲が十分感じることが出来た。担当チームの能力（技術職員の経験及び能力）も同程度の水準であり、そこでの大きな優劣は見られなかった。評価に差異が出た点は、プレゼンまでの準備期間が短いにもかかわらず、4つの課題ごとにコンセプトが明確に示されていることや、事業に対する意気込み、プレゼンテーション・ヒアリングへの適格な対応であった。その結果として、個別講評に記すとおり、株式会社東畑建築事務所名古屋事務所が上位の評価を得ることとなった。

今後、特定された設計業者には、市民・行政との協働で、提案された内容とその取り組み姿勢を堅持し、真摯な態度と熱意をもって臨まれることを切に期待するものである。

◎個別講評

1位：株式会社東畑建築事務所 名古屋事務所

株式会社東畑建築事務所名古屋事務所の提案が1位となった理由としては、各課題に対し的確に答えようという姿勢、社内検討の深度、意欲を感じたことによる。また、企画意図の理解度が優位であり、提案がわかりやすくイメージし易かったことが高く評価された結果である。

次点：株式会社石本建築事務所 名古屋支所

次点となった株式会社石本建築事務所名古屋支所の提案は、計画の合意形成をはかる設計手法が確立されていることや、類似施設の実績は高い評価を得たが、株式会社東畑建築事務所名古屋事務所の総合的な評価には及ばなかった。